

# 栗井

山や海など豊かな自然を生かした  
新興住宅団地が増加中

あわい

エリア基本データ (平成27年1月1日推計)

面積 13.22km<sup>2</sup> 人口:7,096人 10年前との比較 人口:107.7%  
世帯:2,730世帯 世帯:115.7%

- アイコン凡例
- 市役所・支所・出張所
  - 警察署・交番・駐在所
  - 消防署
  - 医療機関
  - 金融機関
  - 郵便局
  - 主な官公庁
  - 高齢者施設
  - 神社
  - 寺院
  - ショッピング
  - 遊ぶ・施設
  - 公園・自然
  - チェック
  - 学校
  - 子育て



## かんりんえん 閑林園

栗井坂トンネル近くにある「山の神古戦場」の跡地を歴史公園に整備したもの。この地で敗戦した伊予の豪族、河野通清の供養塔のほか、多くの俳人たちの句碑が集められている。



句碑巡りも楽しめる閑林園公園

## こうようだい 光洋台

高台を開発して誕生した、地域最大の住宅団地。ここからは栗井の町並みを見渡すことができる。さらに鹿島や瀬戸内海の島々、恵良山や腰折山などの美しい山並みも望むことができる、ロケーション抜群の団地。



眺望抜群の光洋台からの眺め

## たくなみさん 宅並山

河野氏の砦があった標高200mほどの小高い山。地元有志により登山道が整備された。春から初夏にかけて桜やツツジ、アジサイなどが咲き誇る。また、山頂付近は瀬戸内の島々から松山城まで見渡せるビュースポット。



河野氏の砦跡の宅並山

## Q どんな地区ですか？

市内中心部から約10kmの北部に位置する栗井地区。海岸に近い西部では、瀬戸内海の眺めの良さを生かした宅地造成が進み、若い居住者が増えています。東部や南部を中心に主に農業が営まれ、かんきつ類の栽培やハウスイチゴの栽培、野菜作りが盛んです。新しく誕生した団地は、交通の利便性の良さから、市内中心部への通勤者が多くを占めています。

## Q 生活環境はどうですか？

エリアの中心部を南北に国道196号(松山北条バイパス)が整備され、市内中心部へのアクセスが良くなりました。バイパス沿いには大型スーパーや、ファミリーレストラン、病院などがあります。県道347号沿いには住宅が密集し、コンビニや食事処などもあります。最近では海岸沿いに住宅団地が整備されています。豊かな自然に包まれているますが、生活の便も確保された地区です。



エリアの中央を通る松山北条バイパス

## Q 公共交通機関でのアクセスは？

JR予讃線の駅が栗井駅と光洋台駅の2駅あり、JR松山駅まで最短で20分足らずという通勤、通学に便利な所です。駅には無料の駐輪場が確保されており、自転車利用者への配慮がなされています。県道347号沿いには伊予鉄道のバス路線があり、上下とも日中は30分おきに便があります。栗井駅前から松山市駅まで約40分で行くことができ、市内中心部での買い物などはバスも便利です。

### 地名の由来

栗井坂に、「弘法大師が、杖で足を突くと、粟粒のような清水が湧き出した」と伝わる井戸があった。村人たちは、水が湧き出る様から「粟の井」と呼び、地名の由来となった。

### あわいふれあいマーケット 栗井ふれあいマーケット

公民館主催で年7回開催。地区内外の野菜や果物、手作り雑貨、軽食などの出店がある。さらに毎回イベントも企画され、大人から子どもまで参加できる地域の交流の場として親しまれている。



手作り食品が人気の栗井ふれあいマーケット

このマップは、各地区の公民館のみなさんにご協力いただき作成しました。掲載している内容は、平成28年3月1日時点のものであり(一部例外あり)。医療機関・高齢者施設・子育て関連施設など、一部記載を省略しているものもありますので、詳しくはお問い合わせください。